

開講年次・時期	2年通年	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK320	科目名	保育実習指導Ⅱ	担当者名	櫻本和也 他専任教員
授業の概要	実習の事前学習として実習の意義や目的、また内容や方法などの理解と実施課題の明確化を目的とする。加えて保育計画に基づいた実習日誌及び指導案の作成、更に保育士の専門性と職業倫理についての理解を深める。				
科目の到達目標	1. 保育士の専門性と職業倫理についての理解を深め、実習の意義や目的を理解した上で保育を実践することができる。 2. 指導案に基づいた計画と実践方法、または計画に基づいた日誌の記述をはじめとした総合的な学びを通して、保育実践に活かすことができる。				
DPの観点	①聴く力(10)、⑤社会性(10)、⑥専門知識・技能(30)、⑧実践力(20)、⑨主体性(30)				
授業時間外学修 (予習・復習)	予習:保育所保育指針の理解を深め、実習教材の構想や指導案作成等の提出課題に取り組む(毎回、2時間程度)。 復習:返却された日誌や実習評価の内容を振り返りながら現状の成果と課題を確認する(毎回、2時間程度)。				
フィードバックの方法	自己評価票の記入をはじめ実習日誌を基にした個別の振り返りと、グループワークなどでの共同の振り返りを行う。				
単位認定の要件	実習直前指導を必ず受講した上で、学期末の試験について定められた基準を満たすこと。また毎回授業に出席し、欠席の場合はその授業内容を補うことを求める。				
評価の方法・割合 (%)	学期末試験(30%)、授業内提出物(提出期限の厳守を含む)(30%)、授業態度(40%)で総合的に評価する。				
履修上の注意事項	保育士資格取得に係る必修科目のため、欠席をした場合は正当な理由がある場合にのみ補講等を行う。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育実習ⅠAの総括 ガイダンス(授業計画及び評価の観点について)	①、⑥、⑨	ミニッツペーパー
2			保育実習ⅠA評価のフィードバック 実習で学んだ事の理解と評価	①、⑥、⑧、⑨	ミニッツペーパー
3			保育実習ⅠBの意義と目的についての再確認 実習施設の役割と機能の理解	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
4			実習日誌の書き方と実践 活動の流れの記述、指導計画・指導案の作成について	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
5			保育実技講習	①、⑥、⑧、⑨	ミニッツペーパー
6			外部講師による講話 施設の機能と役割、施設保育士に求められること	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
7			保育実習ⅠB直前指導 日誌の配布・各項目の記述内容・評価の観点	①、⑥、⑧、⑨	ミニッツペーパー
8			実習反省会(施設実習)	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
9			保育実習Ⅱ直前指導 実習課題の明確化について	①、⑥、⑧、⑨	ミニッツペーパー
10			実習反省会(保育園)	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
11			各実習における評価のフィードバックと省察	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
12			1・2年生合同情報交換会(保育実習)	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
13			1・2年生合同情報交換会(施設実習)	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
14			保育実習指導Ⅱのまとめ課題と全体の振り返り	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
15			就職に向けてOB/OGを迎えての講話 (保育園・幼稚園・施設)	①、⑤、⑥、⑨	ミニッツペーパー
期末試験			期末試験	⑥	答案回収

使用テキスト	実習指導ガイドブック及び授業内で資料・レジュメを配布する。
参考文献 参考URL	保育所保育指針(厚生労働省)など適宜紹介する。
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--